



変わり行く 副都心

市営地下鉄西神線新長田駅～
新長田駅前ビルの話題

神戸の西の副都心、国鉄新長田駅周辺。庶民的な町というイメージが強い。

その新長田に、市営地下鉄の開業、続いて、新長田駅前ビルのオープンと、この春、ホットな話題がいくつかある。

まず、三月十三日に営業を開始した地下鉄西神線の話題。

これは、副都心と須磨ニュータウンを結ぶ、名谷―妙法寺―板宿―新長田間全長五・七キロで、かつての市電を思わせるグリーン色のツートンカラーのファッショナブルな電車が走る。各駅にはそれぞれ「春の駅」(名谷)、「秋の駅」(妙法寺)、「板の駅」(板宿)と愛称がついているが、新長田は「鳩の駅」。ホームの壁面には鳩の群舞が描かれている。コンコースの「泉の広場」には垂水区神出町在住の陶芸家南沢さんの舞子焼きの作品



「鳩の泉」があり、乗降客の目を楽しませている。これは神戸須磨ライオンズクラブ(梶川一策会長)と同ロータリークラブ(松口金太郎会長)によって、名谷駅のステンレス製彫刻「リフレクション」(福田美喜子作)と共に贈呈されたものだ。

レンガを基調にした落ち着いた雰囲気のコルコースは国鉄新長田駅へと通じており、定期券売り場前ホールは太陽光線を地下へと取り

入れる吹き抜けになっている。また、駅舎の上には六階建ての地下鉄ビルが建つ。ここには飲食店が入る予定になっているが完成はまだ先になりそうだ。

地下鉄新長田駅を上がるとすぐ前に四月二十一日にオープンする「新長田駅前ビル」が目に入る。

愛称「ジョイプラザ」のこのビルは神戸市都市計画局が昭和四十八年九月から建設していたもの。地下三階、地上二十五階、高さ八十二メートルで神戸商工貿易センタービルに次ぐ神戸第二の高層ビル。

ビルの周りには噴水と緑をいっぱいにして市民の憩いの場となるように配慮が払われている。

地下一階から地上二階は「大丸新長田店」、愛称「ジョイプラザ大丸」。店長に就任する近藤隆信さんの話によると、専門店志向で、若々しくファッショナブルに、買いやすく選びやすく、話題性のある店づくりを目指し、全体の35%が婦人服・婦人雑貨、30%が食料品、つまり、地階が食料品中心のくらしのフロア、一階が装いのフロアで、ニューファミリィ、ヤング層を対象にした商品展開をする。

また、大丸の西南角にはカリフォルニア生まれの味、ハンバーガ

地下鉄新長田駅出入口より新長田駅前ビルをのぞむ



「鳩の泉」南沢さんの奥さんと恵さんと長女さやかちゃん



工事が進められている新長田駅前ビル

一の「A&W」がオープンする。
二階はショッピング・プラザで身回り品、レジャー用品、それと飲食店の合計三十九店舗で構成される。

三、四階には「新長田勤労市民センター」と「神戸市立若葉保育所」が入る。「勤労市民センター」内には体育館なども設置され、一般が利用できる。問い合わせは市役所内勤労市民課まで。

また二十四、五階には九月末オープン予定でレストランが入る。「ブーン・ベントハウス」がそれで、二十四階は英国風のモダンなインテリアのステーキレストラン「ブーン」。七十五席の広さをもつ。二十五階はスペインの田舎屋風のインテリアのヴィスタ・ラウンジ「エル・パテオ」。午前十時から午後四時三十分までが喫茶と軽食、五時から十一時三十分まではパブレストランで一四〇席の広さ。そして落ち着いた雰囲気をもったフランス風のインテリアで、地域のハイクラスな社交場および集会場として三、四十人が利用できるサロン風の「オルフェ」で構成される。

五階から二十三階までは日本住宅公団住宅で四百十二戸が入る予定になっている。副都心としての機能が揃った新長田周辺の今後の展開は大いに期待される。

Talk Town II



神戸駅の玄関口ドーム型のバスターミナル

期待される 再開発

神戸駅周辺開発促進連合
を軸に着実に一步一步

神戸駅周辺は地下街を中心とし

てここ十年の間に目覚ましい変貌ぶりをみせている。元町商店街から去年改装された三越百貨店、新天地に続く経済を地盤にした横の軸と、大倉山図書館、神戸文化ホール、中央体育館、家庭養護促進協会もある婦人会館、湊川神社といった文化圏の縦の軸の中心地点が神戸駅周辺である。メトロこうべ、サンこうべと大きなショッピング街や飲食街に続いて今なお再開発が展開している。

昭和45年に「神戸駅周辺開発促進連合会」といった商店街、自治会を主力とした民間サイドにたつ組織ができ、神戸市の都市計画課と協力して着実に地域開発の計画及び実行がすすめられている。この会の副会長を務める菊水総本店社長の菊水啓輔さんと事務局長の真田元一さんにいるいと現在の状況や将来についてお話を聞いて

みた。

まず周辺の街路灯整備と緑道計画ということで写真にみられるようにレンガを使っての植え込みや黒塗りの洒落た街灯造りが昨年春から実施されている。また現在元町通りを六丁目まで東から歩いてくると三越百貨店のところで歩道の流れが止まっていることからこれを神戸駅まで流れが続くよう

「太陽のある地下街」と銘うった「サンこうべ」緑もいっぱい。



にと道作りを工事中である。年内には完成する予定だそうだ。

次に太陽神戸銀行横の空地に新しいビルが建築されることも話題を呼びそうだ。住友ビル（仮称）は地下と1階をショッピング街にして2階以上はオフィスに利用される。このビルが完成されるとサンこうべやメトロこうべと結ばれ大規模な地下街ができあがることになるだろう。合わせてメトロこうべが来年十周年を記念して、名店街が一斉改装工事によりお化粧直しがされる。

大きな問題として湊川の貨物駅土地利用について見当されている。7万坪という広大な敷地を3万人程度収容の住宅地にしてはという案も出され行政側と相談のものに進められている。

神戸駅の南側はかなり殺風景で空地も多い。中央郵便局付近には三千坪近い土地があり、将来国鉄ビルが建つ予定である。新交通システムができれば、ビジネスホテルを造るとか、神戸駅から郊外へ観光に行けるよう郊外バスターミナルも必要になってくるだろう。

神戸市のファッション都市宣言により、神戸駅周辺では、商業や行政が過度に集中している三宮にはできないような町造りに力を入れている。湊川神社をひかえ神秘性をもったクラシックな面と新し

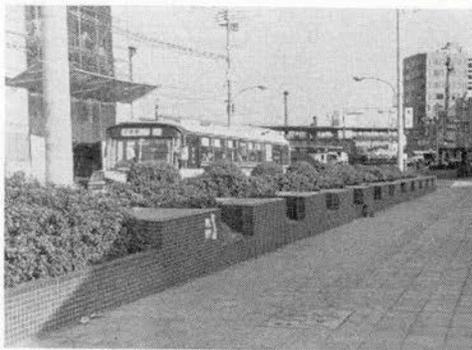
利用者の多い「神戸文化ホール」



洒落たつくりのギャルリークレド



進行中の緑道計画



「ふるもと」の珈琲は一杯ずつ丁寧に



い町造りによるモダンな面との調和、独自のクラシカルモダンというイメージづくりに励んでいる。無理なく堅実に一歩一歩神戸駅周辺は町造りが進んでいるようだ。ステキなお店みつけた。

★湊川神社前に昨年12月11日オープンしたギャルリークレドはともユニークな店。まず店内に擬つたつくりの古いランプがたくさん目につく。古伊万里のそばちよこがケースの中に収められ、壁面には文明開化当時に偲ばせる南蛮版画とかガラス器とか和洋折衷に骨董品が並べられている。御主人が古美術に造詣の深い方で、長崎などからも見に来る人がいるとか気軽に立ち寄ってみて下さい。

電話341-7055午前10時午後8時まで。金曜休み。

★文化ホールから神戸駅へ向かって歩く途中に「ふるもと珈琲店」がある。自家焙煎の美味しい珈琲を一杯ずつ上等の珈琲カップで良い音楽を聞きながら飲んでいただくことをモットーにした落ち着いた店。英国やフランスの著名なメーカーの珈琲カップがずらりと棚に並べられ、他にご主人があちこちに旅行しては求めた美術品が飾られている。

珈琲三百円電話341-6607午前9時から午後9時まで。日曜休み。姉妹店/三宮京町筋「ふるもと珈琲店」電話391-4295 同友店/西宮えびす神社東側「處花珈琲店」、高崎市大通り商店街「あすか珈琲店」、前橋市馬場川通り「あすか珈琲店」



歴史と伝統に 新たな展開

いよいよ改装にかかる
元町5丁目商店街

元町には、「歴史と伝統がかえって邪魔をして品物が高いというイメージがある」(元町連合会長 山端一夫さんの話) 良くも悪しくも。しかし、何も老舗にあぐらをかいているわけではない。

「今年是一年中、各種の催しをやって行くよう予算組をしているたとえば、一月には成人の日を祝って人力車を出した。歴史と伝統を生かしたPRをやって行きたい」(山端さん)

「かつては元ブラをしないとその日が面白くないといわれた。三宮と同じ行き方じゃなく、元町独自のカラーを磨いて育てて行かねばならない。若い人たちにもそういう考えが出て来ている」(元町連合会事務局長濱本正三さん)

「元町に来れば常に何か新しいものが発見出来る。いつきても楽しい雰囲気があるという元町にしたい」(フナキヤ安達昭三さん)

と、異口同音に元町カラーの一層の展開を強調する。

元町1番街から六丁目まで千二、三百米。五丁目を残してすべてカラー舗装されている。気になるのは五丁目。元町五丁目商店街振興組理事長の野網敏一さんの話によると、いよいよ五月二十日から工事にかかり十月いっぱいまで完成する予定。アーケードは電動式で真中が開閉する。歩道は両サイド二・五米に大理石を使用。こ



れはすべるといけなないので粗みつき。茨城県から取り寄せる。真中は中六米のレンガ敷き。「マーブル・ロード」というところだが、目下愛称を募集中。連絡は電話三四一〇一七六、野網さんまで。

また、六十坪ほどの用地にベンチ、トイレ、販売店などを備えた憩いの場所をつくる予定だ。

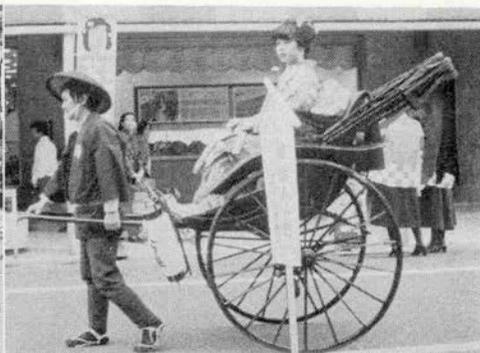
「明治、大正時代は元町四、五丁目が神戸のショッピングの中心だった。今度の改装によって股賑を極めていた往時を取り戻したい」と野網さんは張り切っている。

それでは元町にはどのような店があるのか。ちよつと面白そうなところを見て行くと……。

元町1番街「元町時計店」二階の「一番館」には世界のチョコレートが揃っていて見るだけでも楽しい。「花見屋あられ」には「浮世あられ」「花見の友」などイキ名前のあられがある。向い側には映画館が二軒。一階は東映封切りの「元町東映」。二階は洋画の「元映」。安くて良いプログラムなので若い層に受けている。音楽好きの人は「日本楽器」。五階ホールでは、コンサートもよくやっている。

元町三丁目「本高砂屋」で創業百年のお茶会をやっていた。「菓匠本高砂屋」のぼんぼりと緋

1月の「成人の日」のときには人力車でPR



店舗ごとに色々な催しをやる



商品構成の面白い店も多い



改装が間近かに迫った元町5丁目

毛氈に桜。創業八十周年の「風月堂」は今、改装中。飯店舗ではホカホカの「神戸名物酒月万頭」の店頭販売。その隣が「切味の家」。刀物類がどっさり。喫煙マニアには「ふじ喫煙具専門店」。甘党にはカステラの「長崎カステラ総本舗」「長崎本舗」、洋菓子の「ヒロタ」。「えびら館本舗」は明治四十三年の創業。

元町四丁目「仏壇仏具の「浜屋」にはびっくりするほど高価な仏壇がある。「二〇」パンツショップ」はジーンズ専門店。「浪花屋」は漆器専門。喫茶店「ブローニュ」にはガーデンがある。これからの季節に最適。「モトマチニットルーム」は明るい感じのファッションショップ。

元町五丁目「書道用品専門の「みなせ」、人形材料の「榮屋」はどちらも神戸以外からわざわざ買いに来るほど関西一、品が揃っている。駐留軍払下品・各種舶来運動具の「サトーブラザーズ」には安いので東京からも買いに来るとか。学生服専門店「TACTON」にはつなぎの学生服もある。

元町六丁目「新古美術」「元町美術」、呉服の「赤坂」、瓦せんべいの「亀井堂総本店」など老舗があり、そして「三越」。本間基之店長になってから俄然ファッショナブルな展開を見せている。



明るい坂道と 神戸センス

解放的でエキゾチックな街
トア・ロード、大丸前

トア・ロード——太陽にめぐまれた坂道である。みなと神戸にふさわしいこのエキゾチックな坂道は、「正式の通りや町の名ではない。東西にながい神戸では、やはり東西の通りに町名がつけられているケースが多い。通称してトア・ロードは、北から北野町、山本通、中山手通、下山手通、北長狭通、三宮町とじつに六つの通りを縦断している」(陳舜臣著「神戸というまち」より)そしてこのハイカラな名前の由来も昭和二十五年に火災で焼失してしまったトア・ホテルの名からとったものであるとか、ドイツ語で門を意味するTORであるとか、鳥居のTORIのIの文字が落ちてTORとなつたとか、説は多くあるが、いずれが正確であるかは不明である。それはともかくとして、この坂道、かつての様相を残しながらもずいぶん変貌した。



トア・ロードのつきあたりにある
神戸クラブ入口

アンアン、ノンノ、そして女性週刊誌の神戸特集には必ず登場してくるこのトア・ロード——日曜日ともなれば、そのカニ族の歩く姿を見かける。しかし、無情にも商店のシャッターのほとんどが閉ざされている。日曜日を定休日としていいる商店が多いのである。春の陽ざしを受け、坂道を散歩しながらのショッピングなんて楽しいだろうに、残念なことだ。そんなことも含めて、ドイツ菓子「コロンパン」の社長、加藤末一さんは

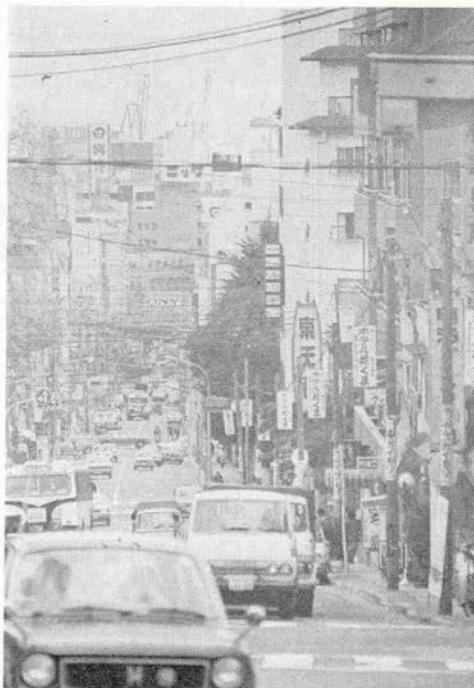
こう話す。

——閉ざされた箱のような商店街ではなくて、解放的な雰囲気の商品街がトア・ロードなんです。かつては中国人やロシア人など外国人の商店や会社が全体の三分の二をしめ、そのへんからもエキゾチックなムードがありました。今、多くの問題をかかえてはいますけれど、トア・ロードセンター協同組合やトア・ロード中央商店街振興組合を中心として、その復活をおしすすめています——。

具体的には、緑を増やしたり、街路灯を設置したりすることを検討している。まずは舗道の整備から始めていくそうである。

そしてさらに、
——個々の商店それぞれが街づくりの基本になると思いますが、トア・ロードに公共的な役割を果たすようなビルを建てる計画もあるんです。そのビルは、ひとつに国際性のある商業ビルにしたいということ。そしてもうひとつ、神戸の歴史的資料を集めた資料館のようなもの。まだ具体的ではありませんが、主にこの二つを考えています。つまりは解放的でエキゾチックなムードの再現と観光客に対するPRをねらうわけです——。
トア・ロードのつきあたりには市章山が見える。神戸の街のなかでも一番間近にあの電飾の市章を

車が多すぎ
る。



オアシス道
路が大丸前
にかけて続
く

あちこちに
トアの文字
が

迎ぎ見ることのできるのがトア・ロードなのである。この市章山を背にしてなだらかな坂道を下りきると大丸前商店街につながる。このデルタ地域にホンモノを売る神戸の専門店が多くなる。他にも「神戸センスの代表」と認められる専門店である。買い物なら神戸といわれるに應えることのできるハイセンスにあふれている。この大丸前のストリートは歩行者天国——オアシス道路となり(ただし、日、祝)子供たちの恰好の遊び場となる。

トア・ロードのつきあたりから大丸前まで、ゆっくり歩いてみるとわかる。坂道、明るさ、異国情緒、ハイカラさ、神戸の街のすべてを含んでいるストリートなのである。

トア・ロードから大丸前商店街にかけては、アーケードがなく、青い空が見える商店街。

明るい色彩の土地と海と空。このモダンな環境が神戸のセンスの歴史を支えてきた。今やホントの明るさがなくなってきた神戸の街まち。せめてこの地域は作られたファッション街でなく、それがごく当り前のことであるかのような顔をしているファッショナブル界限として市民にゆとりのある生活感覚を与えてくれる神戸の顔であって欲しいものである。



北野町界限 新風景

若い力を結集したローズ・ガーデン
の話題を中心に

春のKOBÉにフアッションの新しい風が吹き始めた。

トア・ロードの坂道を海から山へ登りつめると、神戸外人倶楽部につきあたる。そこを東へ行く道に「異人館通り」と名がついたのは去年の3月、ミニ・ショップハウス「キングスコート」が生まれるときからだ。

スイス人のシュエイケ邸、中国人の門邸と、緑とチヨコレート色した異人館、古めかしいグラシアニ邸、階段を登る白い華橋總會、マンションの影にひっそりとたたくむ緑のスタデニツク邸など、残り少なくなつた木造の館が点々と並んでいる。二〇〇軒近い異人館も戦火とラブホテルとマンションブームと押しよせる近代化に次々と姿を消した。今や限界……。

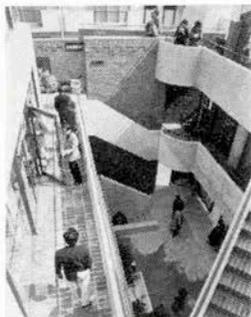
が、この異人館通りに神戸のハイカラの伝統を受け継いだ新しい街づくりをと、三浦明定さん(35)

がヨーロッパ風の「キングスコート」を開いて注目を集めた。

「Small is beautiful」の精神に続いたのが3月3日にオープンした「ローズガーデン」

煉瓦とコンクリートの打ちつばなしとガラスの組み合せ、吹きぬけの中庭と地下から3Fまでを坂あり谷あり山ありといったバラエティのあるモダンな安藤忠雄さんの設計。

デベロッパは、若山晴洋(27)林愛艶(27)さんというニューファミリーのご夫婦(右写真真のご両人)。企画の浜野安宏氏は、「ほ



くは二人の用心棒。よそもんが神戸の街に関わつた具体的第1号。オープンに27店が大幅のディスカウントなしに揃うなんて異例のこと。若い二人の努力と店一軒一軒が、神戸の街に関わろうとするテナントの若さの結晶ですね。

安藤さんは「もうけるよりも、いいもの生活全体を含めて、いい界限をつくる意欲が、街をつくる原形で、この界限にこれからどうとけこむかが大切ですね」。

「from first」です。

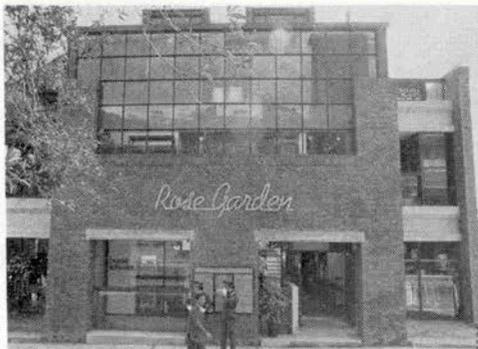
と一言、さらに若山さん。

27店、オーナーの平均年齢27才ここから歩いて5分以内に住む人が10人いるそうだが、なかなか上手い店の組み合せと配置。

1Fのガストロノミは元町レストランフックの新しい実験店「北野町界限の外人さんが沢山いらっしやるので、ここで外人さんのお台所の役目をするのですから大変勉強になりますねえ。肌を感じた勉強を日本人の新しい食生活に生かして生きたい」

と、オリジナルサーモン、ローストビーフ、ハム・ソーセージ類に手焼きのパン、スパイスのセツトなど一味違ったものばかり。神戸っ子の生活感覚が生きている。珍しいのは2Fにあるドイツレストランの「ハイデルベルグ」(ローズガーデン2F ☎221424)

広い窓とネオン文字が印象的



あら、こんにちは！
新しい界限づくりはフレンドシップから

こちらは凝ったつくりのクィーンズコート・オーナーの三浦明定さん



オーナーはみんな若い
(ローズガーデン)

で、ピーターEグルーベさんの店。8年前にハンブルグから日本へやって来て御影に住み「神戸が大好きで、何とか本物のドイツレストランがないので作りたいかった」という。ラインとモーゼワインに、ニールベルグソーセージとかポテト料理とか、ドイツ風田舎の朝食などもあって、清潔できっちりした店に近所のドイツ人達が集って来るサロンにもなっているようだ。向い側にも緑の窓にテラス風のナウ異人館「サロン・ド・パール北野」が同時にオープン。岡添真珠と栄光真珠のショールームだが遊びのスペースあちこち工夫され、山口牧生さんの彫刻を飾り、1Fは買い易い真珠とアクセサリー、2Fは「いい真珠」が並ぶ。この辺りは世界の真珠メッカ。非常にファミリーで、そんな暖かさがどこことなく漂っている。

華僑総会の東南角に「三浦」の表札をあげた「クィーンズコート」もこの夜の夜オープン。1Fは居酒屋と魚貝類の鉄板焼。2Fはウィップサロン「北野町界限に住みついて、生活がある街づくりをせなアカン」と思っています」と、決意もさわやか。

異人館の古めかしいたたずまいの中に、神戸の若い人々の愛する街への情熱が静かに燃えたとてきた。



センター街 気質健在

ビル化、多店化、様相は
どんどん変わりますが……



いま…。

たとえばニューセンタービル。アメリカがやってきたキャッチフレーズのもとこの3月3日オープンした広々とした二、九六五㎡のジーンズショップ「ジョイント」の場合。トータルジーンズストアだけに何でも揃ってしまふ。「シヨックやったね。とに角、皆あるんやもん。けど、今まであっちこっちの店で探し歩いて、見つけてという買い方を楽しんでただけにこう一堂に揃うと…」とは、早速のぞきに来たジーンズ愛好党のスギオカ君の話。若者族ニューファミリアー層の心理をつかんだNOWな店づくり志向といえよう。同じくニューセンタービル一階の、今年創業85周年を迎えた山下履物店、その老舗の若き三代目山下彌氏「外人用にLLを作ったのが日本人にも好評でしてね。日本の生んだゲタは健康にもいいし、うちには別誂えですから幅と長さのパランスが違いますよ。老舗の上にあぐらをかかない、商売熱心さ。息吹きというか、この活動力というかセンター街の雰囲気をとことんどうとそんな感じ。店づくりに対する前向きな姿勢がどの店にもあるのだ。

ところで、近隣がすべて近代化され、今や残された地区となった旧第三防災区組合（服飾計画セン

フラワーロードからトアロード經由、鯉川筋。この坂道たちを横につなぐ神戸のメインシヨッピング通りが、名にしおうセンター街のこと。通りというよりは、相次ぐビル化により縦にも上下にも只今増殖活動まっ盛りのシヨッピングゾーンといった方がよさそうだ。

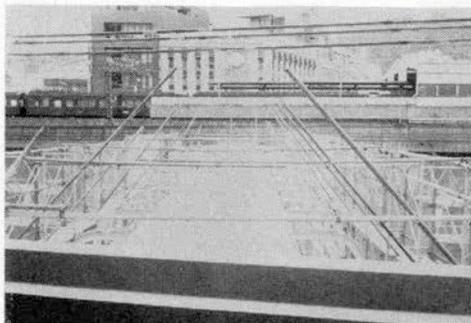
この約500メートル程の距離にひしめく店舗数ざっと500。もちろんさんプラザ（昭和45年に完成）さんセンター（第一防災ビル・三宮町一丁目浜側のビルのこと。昭和44年完成）ニューセンタービル（第二防災ビル、昭和51年完成）センタープラザ（昭和50年完成）サンブリック街（第四防災ビル・三宮本通りビル浜側界限、昭和51年完成）そして工事中のA棟ビル（昭和52年12月完成予定）前の仮設店舗、ビル化計画中の二丁目界限三三街とネーミングされた旧柳筋の店舗を全部ひっくるめての数で



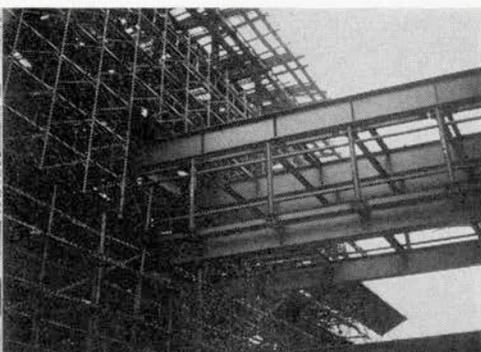
はあるが。急ぎ足で歩いても五分走り抜けても（息が切れるし、必ず人にぶつかるから）やっぱ三〇四分。ゆっくりシヨッピングを楽しんで回り歩くとなると一日はかかりそう…。

ビル化に対して賛否こもこもだが、神戸市の市街地改装計画により、青写真がひかれたのは41年。この敷かれたレールを走り始めたことにより、大衆的なセンター街がキラキラと、流行と、若者との街に変身し始めたのだ。そして、

阪急三宮西
口とセンタ
ープラザを
結ぶ陸橋。
これも只今
工事中、完
成は来年4
月



趣かわって
三三街れん
が道になり
ました



12月完成め
ざして着々
建設中頭上
注意

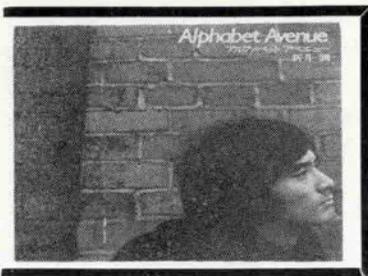
OPEN 1
周年を迎え
たファッ
ションパー
ク

ター上田(トアロード東角)も、1月21日創立総会で片山清敏氏(美和工芸社)を理事長に選出し、同地区の三宮11街区東協同組合と共に動き始める気配を見せている。「まだ、一進一退。アイデアを出し、意見の交換をしている段階で何も決まっていない」と岸野利男さん(シンワ社長、11街区東組合理事長)。じっくり練っていい街づくりを、とこちらも前向き。

星電社やダイエーを生んだ大衆的で親しみやすい素地と、神戸で地価No.1という絶好の場所に位置している土壌と、それだけに激烈な商戦を体験している店主たちと。形は変わってもセンター街はやっぱりセンター街というところか。夜は夜でれんが舗装なった三三街(柳筋の方がいいのに)お好み焼や、なぜか顔を見に行きたくなるスタンドのママや…。われわれにとって、センター街は、昼も夜も足が向くわが町である。

★安政元年の大地震で折れたといわれる生田神社の折れ鳥居の礎石が、生田筋の雨水付替工事現場(第一勧銀横)で掘り出された。直径60cmの鳥居の根元をくわえた重さ5tもあるもので左腰部分。このセンター街界限の昔々の姿って、とても想像できないが、出てきた礎石も時代の流れにビックリしたのであろう。

Talk Town VII



神戸カラーが リターン

さんちかタウンから
フラワーロード

ピンク、ホワイト、ブルー、パープル。淡いパステルカラーが、春のさんちかレディスタウンから、ファミリータウンにあふれて、あーやっつと神戸の色にリターンノと、ほっとした感じ。あなただが神戸っ子ならワカルはず……。ここに、三年うっとうしい色が流行了しましたね。それでも頑固に神戸は神戸とピンク・ブルーを売っているレディス・ショップに出あった時の嬉しかったこと。でもこの春は、全体的に、絶対的に神戸カラー。これでないとかアカン。しかし、このアルバ像の近辺、神戸の女性は美しい……。ハツラツたるもんですね。男の子。あつたいた。うん、まあ、あんなもんでしよう。しんぼうしたげよ。今日は土曜の夕暮れどきだが、先だってさんちかのインフォメーション近くのベンチで待ち合せをしたら会社のひげどき。これもまた

圧観。フラワーロード近辺のオフィス街に、ワールド、ジャヴァ、パール、オールスタイルなどと、神戸のニットメーカーがどンドン大きくなって、そこいらで働く男女群。キャリアガールたちの粹なこと。これは今迄のお嬢さんルックにない非常に緊張感のあるおしやれで、目の前をジャンジャン、タッタツと行くのである。それに、男性がファッショナブル。いいですね。ヴィヴィッドな、きりりとしたバッチリきまつた若い感じは、ファッション都市神戸を誇りに働く人々が定着してきたのところがうかす。ワールドの京都生れの企画マンが、神戸で働く幸せをおしやべりしてくれたけど、この優しさのある街で、山と海とを眺めるフラワーロード近辺で働けるなんて、いい洋服が創りだされてトーゼン。とまた大増築を進めているワールドの鉄筋を

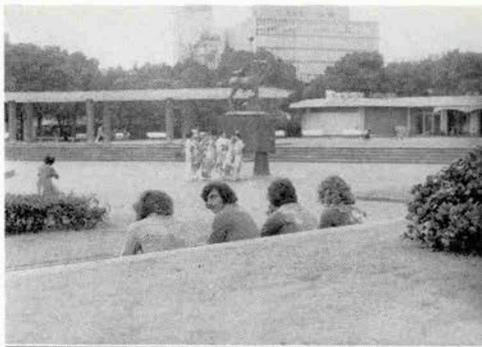
眺めてしまった。

さて、さんちかはインフォメーションが充実してる。京阪神の催しもの、くらしのホットラインとして神戸の生活情報センターや神戸市の社会福祉協議会のボランティアセンター(☎3513077)。福祉はボランティア活動から…。身体で出来る奉仕からと思う方はぜひどうぞ。それに住宅テレホンサービス(☎3319100)など市営住宅のこと、レジャーのことなどちゃんと市役所の出先きになっていて利用せねばソンソンという感じ。エー、電車マニアには、神戸初の地下鉄記念乗車券は4000円。記念ネクタイピンは1,000円ナリ。

すれ違い息をのんだフラワーロード 見知らぬ人の後姿 君によく似ていた 二人の愛が終った日の 思い出がいまよみがえる 黙って見送った 心では追いかけるがら 忘れていたはずなのに 忘れていたはずなのに ……。

このフラワーロードほど地球上の各人が、沢山あるく道はないのではないかしら。2月末にキングレコードから発売された神戸のシンガソングライターの新井満さんの「アルファベットアベニュー」は、そんな神戸の街のムードが漂よっているサウンドだ。この

日本の女の子みんなベッピンネ。



だれを待ってんのかな



神戸輸入品卸売センターが着々新ビル建設中



さんちか広場で、人形サークルの展覧会。主宰の藤元令子さん

一節は「ローストシテイラヴ」。もっとステキなのは「モニカ」。この曲は東遊園地の昼下りを想い出させる。3月21日にはシングル盤の「オクトーバー14外は雨」と「夕顔」が発売されて、透明な声

が街に流れる。今日の東遊園地の昼下りは、大振袖の女子大生がヒラヒラ、噴水に水しぶきうながけら記念撮影。

それを眺める若い外人シーマンたち4人。早くシャッター切ればいいのに見せたくて見せたくて。ニューポートホテルの玄関に、

「武庫川女子短大体育科謝恩会」「神戸学院女子短期大学謝恩会」

「親和女子大お別れ会」とずらり。ホテルの北角の「デキシール」

の中から、トランベツトが聞こえるのでちらとぞくと、鈴木建彦さんたちのデキシールバンド。可愛い女子大生がパンジョー弾いて、ピアノの前で一杯ジョッキを

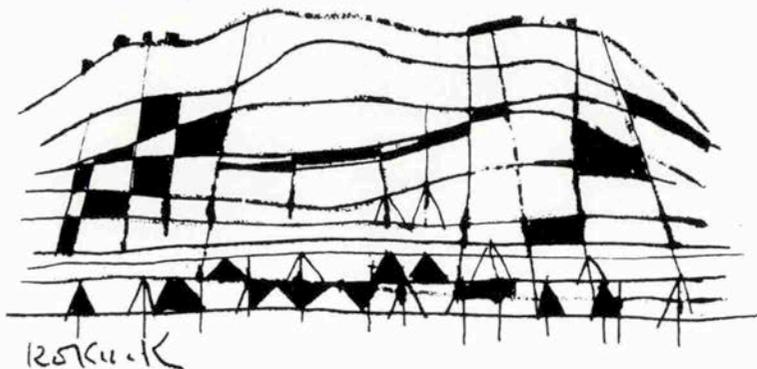
傾けるとフラワーロードも夕暮れどき。港から上ってくる外人さんオンリーの女が何げなく立っていたり。

神戸市役所の灯に、大神ビルの7Fはわが神戸っ子編集室の窓も見えてまだ灯がついて働いているの。

あ。メ切日すぎてるのにね……。あ。

六甲山

神戸の背後にそびえる六甲山は神戸市民のいこいの場である。
四季おりおりの自然を楽しむハイカーの歌声が街の中心までこだましてきそうだ。



え・貝原六一（行動美術協会々員）

信頼のブランド®

UCC®

コ-ヒ-

上島珈琲本社

神戸市生田区多聞通 5-3

(神戸駅前)

☎神戸(078)341-3606(代)

眼下にひろがる神戸
100万ドルの夜景が旅
の郷愁をさそいます

新幹線 新神戸駅 徒歩5分

国鉄三宮駅 車で5分

中突堤より 車で10分

政府登録 国際観光旅館

ホテル神戸

〒651 神戸市萺合区熊内町5丁目2の31

TEL (078) 221-5431(代)

ステーキ 神戸ビーフ

フェスティバル

4月1日～5月31日

アイ・アム・こうべっこ
(KOBEC・COW)

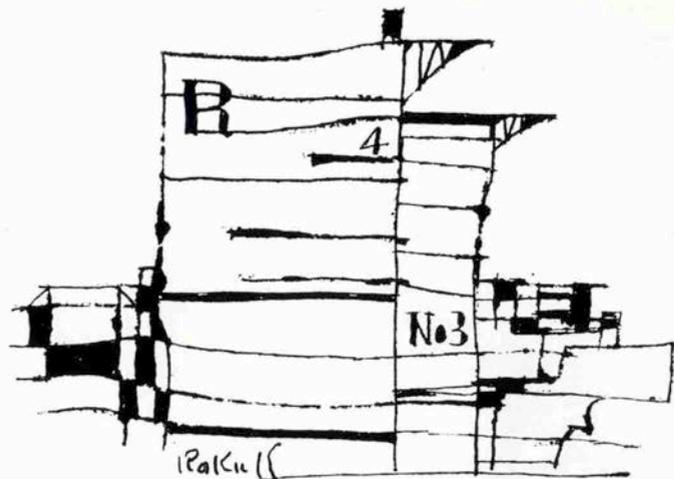


1ポンド
(450g)
のステーキを
おめしあがり
ください

回転レストラン 鳴を門

ニューポートホテル

でんわ 078-231-4171(代)
神戸・三宮・フラワーロード



港の倉庫

神戸港は横浜とならぶ日本の代表的な港である。コンテナ輸出の増大で港は一段と活気を帯び、ポートアイランドの完成に神戸っ子の期待は大きい。

贈るなら
本ものの味

高級奈良漬



創業明治3年
神戸・灘

高嶋酒類食品株式会社

TEL (078)841-0551

国鉄周遊指定地
神戸港めぐり

社会科見学
リクリエーション

のりば
中突堤ポートタワー前
11:00便～(毎時間)～16:00便
(所要約50分)

神戸通船株式会社

〒650 神戸市生田区波止場町中突堤
TEL (078) 331-0785・6088

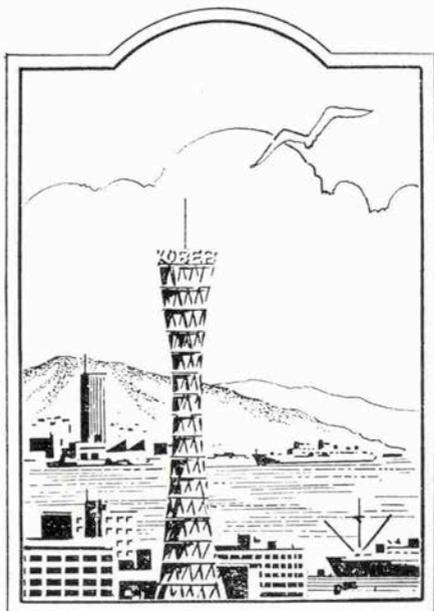
しなやかな緑の山なみを
スカイハイクで!

六甲有馬ロープウェイ

六甲ケーブル山の上駅にて接続
TEL 八九一・〇〇三一～三

(財)神戸市都市整備公社

マイ神戸、マイホテル



潮風が詩い、ファッションが踊る。ミナト町神戸のロマンチックな思い出は、神戸タワーサイドホテルから——エコノミカルな料金システムや、神戸を代表するシーサイドレストランで楽しめるヨーロッパの味。あなたの旅のいち日を、心をこめてお迎えいたします。
シングル¥2,500~¥3,800 ツイン¥4,600 ダブル¥6,800



神戸タワーサイドホテル

〒650 神戸市生田区波止場町1
TEL (078) 351-2151 (代)

旅のご相談は…



山陽交通社へ

陽炎ゆらめく、淡路島を一望に…
桜とつつじの美しい

須磨浦山上遊園



須磨浦ドレミファ噴水パレス

ぬいぐるみショー★好評開演中!

■期間 3月26日~4月10日・16日・17日
4月23日・24日、28日~5月5日

■1日3回公演 ①11:50 ②13:40 ③15:40

●噴水パレスへのコース=ロープウェイ・カーレーターー
回転展望閣~観光リフト~山上遊苑~噴水・パレスへ

■ロープウェイ 17時25分まで運転
(日・祝日と4月15日までは1時間延長)

■山上遊園各施設は毎週火曜日定休
(但し4月15日までは無休)

山陽電車

須磨浦公園駅下車
(阪急・阪神から直通)

SUMA KANKO HOUSE



海の青に映える万葉の花の下
絨毛氈席でごゆっくりと……

お花見弁当・かぐや姫弁当・花びら酒

眺望と料理を楽しむ旅館・食堂

而 須磨 観光ハウス

須磨浦公園内 ☆ご予約は ☎ (078) 731-3751 (ミナコイ)

